

令和8年度公開プロセス結果（概略版）

府省庁名

総務省

事業名

宇宙戦略基金事業（基金）

事業の概要

宇宙開発に係る研究開発に関する新たな基金を創設し、民間企業や大学等が複数年度にわたり先端技術開発、技術実証、商業化に取り組めるよう強力に支援するもの。

公開プロセスにおいて踏まえられた「点検の視点」※

※「租税特別措置・補助金見直しに関する関係閣僚等及び副大臣会議（第2回）」において示された、国民からのご提案を踏まえた各府省庁における自己点検の視点。
（参考）[各府省庁における要求・要望に向けた自己点検](#)

- 一定期間ごとに成果指標（KPI）等を検証し、資金配分に反映すべき
- 基金設置法人等の運営、執行を適正化すべき

有識者からの主な指摘事項

- 基金設置法人であるJAXAの運営においては、ステージゲート評価の透明性及び客観性を十分確保するとともに、PDCAサイクルをより効果的に機能させるべき。また、JAXAに過度の手続的な負担が生じないように考慮しつつ、技術開発だけでなく、事業自体の市場価値や必要性・必然性も踏まえた上で、効率的・効果的な支援となっているか、必要な見直しを検討すべき。
- ステージゲート評価については、必要であれば増額・減額・中止を行うためにも、厳格に行っていくべき。また、アウトカム指標については、世界で通用する国際競争力の確保や、経済安全保障上の重要性という点を十分踏まえた上で、ロジックモデルを見直し、明確で具体的なアウトカム指標を検討すべき。
- 基金の管理・運用については、執行が甘くなりがちであるという点を考慮しつつ、費用対効果を十分検討するとともに、人件費の上昇や物価高、人手不足等といった環境変化を踏まえた上で、より効率的・効果的な方法を考えていく必要がある。